

(3) 県負担・補助率の考え方

県内で発生する犯罪等に対する捜査活動及び被害者（遺族）対策の一環であり、県の治安対策に資するものであるため県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	206	検視室等事務費
委託料	5,355	検視室等設計委託料
工事請負費	50,725	検視室等改修工事費
合計	56,286	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ－２－（２）－③ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 客観的証拠に基づく捜査の推進、犯罪死の見逃しの絶無を強力に推進していくため、全警察署に検視室を設ける。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
	① 検視室等を有する警察署	10 署	/	10 署	12 署	
② 死体取扱体数	/	2,377 体	/	/	/	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	適正な遺体取扱い及び遺族感情に配慮した対応、衛生管理面から整備する必要性は高い。
3	
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	1施設2か年で整備する事業のため実行されていないが、大きな成果が期待できる。
2	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	限られた機材を有効に活用するため、適切な維持管理に努めている。
2	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 警察署において適切に検視や遺体の保管を行える設備の整備が不可欠であるが、11警察署は未整備のため、順次整備を進めていく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 整備した施設を有効に活用することはもとより、能力を十分に発揮できるよう日頃の維持管理に努める。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	